

ウーマンワーク・ラボキャリアデザインカフェ 【秋田県秋田市】

総事業費	1,199 千円
交付金額	599 千円

地域の実情と課題

- ・令和4年度総務省就業構造基本調査における本市の女性の正規雇用割合は、35歳～39歳で47.0%へと急激に低下し（L字カーブ）、女性がライフイベントによりキャリアを中断し、再度正規雇用で就業することが困難な状況である。
- ・秋田市人口ビジョンの「年齢階級別の人口移動の状況」では、15歳から29歳の若年層において大幅な転出超過となっており、地元への就業・就職の展望を描けず、東京圏に進学・就職している現状が示唆されている。

事業の特徴

- ・休業中や復帰してまもない女性、再就職を希望する女性などを対象にSNSスキル講座を開催し、ビジネスへの活かし方を学びながら、キャリアデザインを考える機会とした。
- ・働く女性も対象に加え、キャリア相談会を実施し、個別相談によって自己を見つめ直すとともに、仕事と家庭生活の両立を図りながら、働き続けることへのモチベーションを高めることを働きかけた。

事業の効果

- ・講座の参加者アンケートでは、参加者全員（100%）が「大変満足」または「満足」と回答しており、満足度が高い事業とすることができた。
- ・講座の参加者は、「インスタグラムのビジネスに活かしていただける仕様に話を聞いて良かった」「子育てで追われていたが、参加することで勇気もらった」など、スキル習得だけでなく、自分らしく働くことへの意欲を高めることができた。
- ・キャリア相談会のアンケートでは、参加者全員（100%）が「今後の働き方のヒントを見つけることができた」と回答しており、自分のキャリアの棚卸しや、就業や起業に向けた活動について具体的に描けるよう、相談者に寄り添った相談会とすることができた。

目的・目標

- ・当初の事業目標の参加者数40人に対し、28人と達成率は70%であるが、これはSNSスキル講座の開催にあたり定員を見直したことによる。定員30人に対し52人の申込みとなったが、家族の体調不良等の当日キャンセルにより、実績は減となっている。
- ・キャリア相談会では、育児等に多くの時間が取られる中で、女性が自身のキャリアと向き合うことへの重要性が高いことが分かった。

【目標】事業参加者数 40人⇒【実績】28人（△12人）

連携団体

「秋田市男女共生推進会議」

【構成団体】秋田県立大学、秋田商工会議所、秋田人権擁護委員協議会、一般社団法人秋田県助産師会、秋田労働局、秋田県中央男女共同参画センター（指定管理団体－NPO法人いきいきFネット秋田）、あきたF・F推進員、市内事業所ほか

今後の課題

- ・参加者実績は目標を下回るものの、申込み件数自体はとて多く、女性のスキルアップ意欲、キャリア形成支援のニーズは非常に高く、多くの女性が参加できるよう開催方法等に工夫が必要である。
- ・様々な悩みを抱える女性の自立支援として、今後も継続的に事業を実施し、社会復帰と働くことへのモチベーションを高めるアプローチを続ける必要がある。また、就労につながるためのデジタルスキルの習得に向けて、参加者ニーズや利便性などを踏まえた講座を実施していく必要がある。

事業の概要

ウーマンワーク・ラボ キャリアデザインカフェ

休業中や育児や介護等で離職し再就職を希望する女性等を対象に、インスタグラムをビジネスで活かす方法を学ぶ講座や仕事と生活の両立を考えるトーク、個別のキャリア相談を実施

内容（テーマ）	開催日	参加者数
自分らしさを活かす”未来につながる”インスタグラムスキル	令和5年11月25日	19人
キャリア相談会	令和5年12月7日～9日	9人

